

入山する皆さまへ

ヒグマに注意！！

『自分だけは大丈夫』と思っていないですか？

あなたはヒグマの活動エリアに入ることを理解していますか？

すぐ近くにヒグマがいるかもしれません。

被害に遭わないよう、十分な安全対策を取ってください。

全国的にクマが人間を襲う被害が報道されていますが、登別市においてもヒグマらしき野生生物の目撃情報に関する通報が、令和4年度の28件から令和5年度は53件と大幅に増加しています。

自分の命を守るための安全対策を十分に行ってください。

2020年7月6日に市内で
目撃されたヒグマの画像



登別市

入山時の注意事項

はじめに

入山後にヒグマと遭遇した場合、ヒグマに襲われる可能性があり非常に危険です。

「山菜探し」と「自分の命」のどちらが大切か十分に検討してください。

(1) 事前準備

- ヒグマの目撃情報を登別市公式ウェブサイトなどで確認してください。
- 目撃情報があった場所の近くは非常に危険ですので、入山は控えてください。
- 『音が鳴るもの(熊よけの鈴、ラジオ、笛など)』や『熊撃退スプレー』を準備しましょう。また、遭難した場合に備え、目立つ服装、防寒着、携帯電話、飲み物、非常食も準備してください。
- 単独で入山せず、必ず複数名で入山してください。

(2) 入山する際の注意点

- ヒグマは『日の出・日の入りの2時間前後』が活発に活動するので、特に注意してください。
- 入山直後にヒグマと遭遇する可能性が高いため、入山する前に大きな音(大声や手を叩くなど)を出し、ヒグマに人間の存在を認識させてください。ヒグマが逃げたり身を隠すことができる時間(10秒程度)を取ってから入山してください。

(3) 入山中の注意点

- 視界が悪い藪の中を進む際は、必ず大きな音(大声や手を叩くなど)を出し、ヒグマに人間の存在を認識させてください。ヒグマが逃げたり身を隠すことができる時間(10秒程度)を取ってから進んでください。
 - 一緒に入山した人とは、10分程度の間隔で声を掛けたり音を出すなど、お互いがどこにいるのか確認してください。
 - 食事(遭難中の非常用食糧は除く)する際は、車内で窓を閉めて食べるなど、食べ物のにおいが周囲に広がらないように注意してください。(ヒグマの嗅覚は犬の7倍あると言われています。)
 - 絶対に食べ残しやゴミは山中に捨てず、持ち帰ってください。
- ※ヒグマが人間の食べ物の味を覚えてしまった場合、人間が食べ物を持っていると認識して執着する可能性があるほか、人間に襲いかかることもあります。

(4) 人間とヒグマが遭遇した場合に想定されること

- ヒグマと突然遭遇してしまった場合、ヒグマはパニックを起こし、前足で人間の顔や頭を攻撃することが想定されます。ヒグマの力はとても強いので、攻撃された場合は頸椎を脱臼し、即死することもあります。
 - ヒグマと遭遇した場合は、走って逃げず、ヒグマを見ながらゆっくりと後ずさりをして離れてください。
- ※走って逃げるとヒグマが追いかけてきます。(ヒグマの速さは平地で時速50キロ出せると言われています。)

さいごに

市内の山間部にはヒグマが生息しており、人間とヒグマが共生することが必要です。

ヒグマが人間を襲う原因は、ほとんど人間が作ってしまっていると言っても過言ではありません。

入山する際は、「**本当に入山する必要があるのか**」ということを十分に検討後、自分の命を守るため、注意点を確認してから入山してください。